

第2回奈良県社会教育センター研修施設指定管理者選定審査会

プレゼンテーション質疑応答概要

【アスカ美装(株)】

○第32期の特別利益で、退職積立金取崩益とあるが。

→退職金を実際に払っている。目的外取崩ではないと判断している。

○仮払金が2期連続で計上されているが。

→これについては、いわゆる途上であった。新しい仕事の開拓というかそれに関するもの
これについては、「いかない」と結論付けているので、今期には処理する。

○維持管理費が増加しているがその理由は。

→民間企業に対する設備関連は、ほとんど改修費で上げていて、指定管理に関する設備関連の維持管理費をここに上げている。

○労災について、発生していないか。安全衛生や、教育はどうなっているか。

→設備については、経験者で精通した人を採用している。
その人に知らない人を教育してもらっている。労災がらみでいうと、大きな事故はなかった。
小さなやけどなどを労災扱いしている。また、本社と現場が一体として動いており、本社の経験者が現場に行って対応している。

○外部委託は無いのか。

→エレベーターの保守点検、電気関係等は専門の業者に委託している。

○クレームやトラブルなどかいているが、今まで5年間に何かあったか。

→細かい部分では、冷房が効きにくいなどあったが、大きなクレームは無い。

○予算収支で水道光熱費は毎年3%アップしている。自治体が基本料を上げるのか、ユーザーが増えることを見込んでのものか。

→両面です。光熱費関係は、エネルギーとかの問題で上がってくる部分もある。現在節約をしている。部屋にクーラーを入れても、廊下には入れていないなど。光熱水費は、コスト面で大きな比重をしめており、効率化と利便性のバランスが微妙だが、できるだけ効率化を図りながら取組みたい。

○5年前見たときと、今回見たときに違いがあり、運営スタッフが、良くがんばっておられる。従業員の対応は親切で、全体的に建物内も明るい。剪定も行き届いている。まだまだ活性化する。研修とかできる。営業活動等の時期が大事。絵に描いた餅にならないように、どの時期に何をするのか、目に見える形で、広報計画を立ててもらえれば良い。誰が何をするのか、目に見える形ですれば、現実近づいていく。

→葛城市内の企業は回っている。利用実績を見てもっと広く考える。
そこから1つの切り口にしたいと思っている。

○営業部隊は本社になったということか。

→そうではない。私が知っている先が多く、営業に動いていた。現場での営業活動が希薄であった。そこを強化していきたい。

○災害時緊急対応のところで、組織管理マニュアル、施設管理マニュアルとあるが緊急時のマニュアルであるのか。

→緊急時の対応マニュアルである。設備管理マニュアルは関連しているので、緊急時が発生したときの対応となると、緊急時の対応マニュアルということになる。
基本的に危機に備えて日頃からメンテナンスをきちりやるということも関連してくるので、ここでいうマニュアルは、何か起こったときの役割分担であるとか、連絡の担当者であるとか、そういう内容である。

○災害時の避難所の指定になっているが、緊急時以外に何か考えているか。

→特別ということではないが、食料は一定量ある。退避する場所もある。
県が指示してもらえれば、従っていく。

○県と連携をとって、このことはプラスでお願いします。P8について、研修、アンケートについて時期が書かれていない。具体的に年に何回とかあるのか。どう利用するのか。

→年に何回か実施し、県に報告している。具合が悪いという意見はあまりない。利用率が低いのは、むしろ認知度が低いのか。まだまだ知られていない。葛城市エリアでは知られているが、県では知られていない。県下で幅広く利用してもらえるように活動していきたい。5年もかかったが、良い形が見えてきた。本来の設立主旨に鑑み、県があの場所に設置したことも踏まえ、幅広く行き渡るよう運営したい。